

第2次健康日本21安城計画第4回策定委員会

日時 平成30年8月22日(水)

午後1時30分～午後3時

場所 安城市保健センター 2階 講座室

出席委員：清水誠司、浅井章夫、神谷明文、由良俊英、宮下晴美、黒柳厚子、鈴木広幸、酒井多香子、矢田力三、岩瀬英行、布目政仁、竹本和彦、神谷由美子、柳澤義雄、吉田裕之、小田克成
(敬称略)

助言者 愛知医科大学看護学部長 坂本真理子

事務局 子育て健康部長、健康推進課長、健康推進課主幹、健康推進係長
健診係長、保健指導係長、健診係専門主査、保健指導係専門主査
健康推進係担当者

傍聴者 0名

次第

1 あいさつ

2 議題

(1) 第2次健康日本21安城計画改訂版(案)について

(2) 安城市自殺対策計画(案)について

3 講評

4 その他

(1) 健康に関する基礎調査報告書及び概要版の訂正について

(2) 安城市自殺対策計画のアンケートについて

【事務局】

皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中、第2次健康日本21安城計画策定委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。まだ見えていない方もいらっしゃると思いますが、時間となりましたので会議を開催したいと思います。私は、本日、進行役を務めさせていただきます、子育て健康部長の鈴木村でございます。よろしくお願いいたします。本日の会議におきましては、地球温暖化対策及び節電の必要性を踏まえ、軽装で出席しておりますので、ご理解をお願いします。

本日、ご欠席の連絡につきましては、古居委員からいただいております。また、薬剤師会会長の山口委員に代わりまして野村様にご出席されております。よろしくお願いいたします。ただいまの出席委員は、健康日本21安城計画策定委員会規則第4条第2項に規定します委員の半数以上に達しており、策定委員会は成立しております。なお健康日本21安城計画策定業務を委託しておりますサーベイリサーチセンターの木田様にご出席いただいておりますのでご報告させていただきます。

会議の議事録については公表させていただきます。安城市の公式ウェブサイトにて掲載いたしますので予めご了承くださいませようをお願いいたします。

開催にあたりまして、清水会長より、ご挨拶をお願いいたします。

1 会長あいさつ

【会長】

みなさんこんにちは。今日は2つの大きな台風が来ており、九州地方は大変ですが、この地域は幸い災害からうまくクリアできており、安城というところは山も谷もない災害のリスクの低いところ。今後も防災がキーワードとなると感じる今日この頃です。前回の6月28日の策定委員会でわれわれがやるべきこととして、全体の動きの説明があったと思います。本日は議題が(1)と(2)と2つあります。1つ目は第2次健康日本21安城計画改訂版(案)についてですが、皆さんから積極的なご意見をいただき、それをもとに市の担当の方が資料1を作成してくれました。目次を見ていただきますと、これまで皆さんにご説明させていただいたのは第1章と第2章になります。本日は第3章と第4章を中心に見ていただくことになるかと思えます。それから2つ目の自殺対策計画ですが、前回までは形になっていませんでしたが、今日は計画の第1稿目の段階のものです。これをさらに良くしていくのがこの委員会の委員の皆様役割でもあると思えます。前回までにおきましても会議での議論の中身が充実するほど、非常に良い計画になると思えます。皆様からの積極的なご意見が出ればと思えますので、どうぞよろしくお願いたします。

【部長】

ありがとうございました。これより議題の審議に入らせていただきます。ここからの進行につきましては、清水会長に議事を進めていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

2 議題

(1) 第2次健康日本21安城計画改訂版(案)について

【事務局】

資料の説明

【会長】

どうもありがとうございました。議題(1)についてご質問、ご意見ございましたらお願いたします。

【吉田委員】

45 ページの運動習慣がないとBMI肥満者の割合が高くということは、まさにその通りだと思えます。46 ページの「わたし・家族にできること」として、からだを動かす楽しさ、大切さを知りとあります。また、「団体・事業所ができること」として、楽しくからだを動かす機会をつくりますとあります。ではどうしたらそういう楽しくからだを動かせるかという方法論についてなかなか教えてくれるところはありません。私どもの所もスマイルランニングというイベントを立ち上げています。毎月第1・第3日曜日に安城市内の6会場で行っています。さらに9月からは時差をおいて、利用していただこうと考えています。話が少し外れますが、資料の62 ページの「団体・事業所ができること」として、人が知りあう機会や集まる場をつくりますとあります。こういった楽しめるイベントや仕組みを作ることによって、人が集まってなおかつ身体を楽しく動かせる一挙両得の仕組みだと思えます。私どもではこうい

った部分をさらにPRして広げていければと思いますので、よろしくお願いします。

【会長】

どうもありがとうございました。市でもそういう企画を立ててやっていることも多いと思います。46ページの「団体・事業所ができること」として、一人で走り続けるのではなく、人が集まって楽しくイベント化して実行する。何か市としてはありますか。

【事務局】

ありがとうございます。なかなか行政だけではイベントとして楽しくというものは苦手な部分があると思いますので、みなさまが色々なイベントを催していただけることによって、市民の方も健康でいられるのではないかと考えています。市では「健幸ウォーキング」を11月24日にアンフォーレを起終点に開催を予定しておりますので、またよろしくお願いします。

【会長】

ありがとうございました。個々の具体的な取組みを周知していくことも大切だと思いますので、よろしくお願いします。

【岩瀬委員】

今回の計画は素晴らしくよくできていると思います。特に言うことはありません。ただどうやって市民にこれをやらせていくかが非常に難しいと思います。私も商工会議所において4～5年前の現行計画の内容については全く知りませんでした。一般市民になるとこれをどうして納得して少しでも取り組んでもらうかが難しいというのが感想です。

【事務局】

ありがとうございます。おっしゃられる通りで、健診にひっかかった方たちや病気になった方たちに伝えることは簡単です。日々健康に過ごされている方に対し、こういう風にしてくださいというのは非常に難しいです。これをコツコツと続けていくしかありません。行政の方として考えているのは、健康イベント（ウォーキング・健康講座）等、市民の方が健康について触れられる場所を少しずつ増やしていきたいと思っています。啓発がすべてだと思っていますのでよろしくお願いします。

【会長】

確かに目標を立てて、それをどうやって達成させるのか、そこが一番大事だと思います。それは計画の取組の中に入っています。それをやってもらうことへの強い動機づけにもっていけるかどうかというところも岩瀬委員がおっしゃるとおり難しいところだと思います。

【会長】

いろいろやって改善の実感を伝え、やることのメリット、やらないことのデメリットをはっきりと伝えること。運動時間と医療費の関係等、将来的には色々組み合わせられるといいと思います。

【柳澤委員】

37 ページのBMI 指標ですがポイントがしぼってあり、非常にわかりやすいです。ただこれを如何に具体的に進めるかが一番大事だと思います。栄養・食生活で野菜の摂取量増加とありますが、野菜の摂取量を増加することができるかと言いますと、野菜にもサラダや煮物もあります。作るのはお母さん方で、いかに簡単に作れるか、そうすることによって野菜の摂取量を増やすことができると思います。簡単に作ることでできる野菜料理のレシピ一覧やビデオ紹介等、作る機会の場を増やすことが必要だと思います。身体活動・運動については、機会を増やすことですがなかなかやらないです。時間もないし、どこでやればいいかわからないので、どこでやっているのかという紹介も必要ではないかと思います。最後に生活習慣病の予防で健診受診率の向上とありますが、受診率の向上については企業にもチェックしてほしいと思います。健診の受診率を高めることも大切ですが、2次検査を受けていない人が多いので、要検査をしっかりと受けてもらうことだと思います。

【会長】

ありがとうございました。健診などは町内ごとで細かく出ていると思います。企業も指標として持っています。きちんとやっているところは表彰するのもいいのではないのでしょうか。やはり褒めてやることも取り組みの一つだと思います。

【会長】

みなさま時間の関係もありますので、議題（1）については了承でよろしいですか。よろしければ拍手をお願いします。

【委員一同】

拍手。

2 議題

(2) 安城市自殺対策計画（案）について

【事務局】

資料の説明

【会長】

どうもありがとうございました。22 ページ以降の表やリストは今後具体的に作成されていくということです。議題(2)についてご質問、ご意見ございましたらお願いします。

【柳澤委員】

27 ページの計画の推進については、これが最終版ではないのでこれでいいとは思いますが。実態の把握があまりされていないのではないのでしょうか。前回の時は安城市の自殺者が多いと感じました。各年で年代別で把握して、年代別に対し重点的な施策を考えるべきではないのでしょうか。

【会長】

ありがとうございました。それにつきましては6～9ページに記載されているのではないのでしょうか。また、11ページに安城市の自殺の傾向として自殺の危機経路も含めて上位5位まで記載してあります。ただ市としてももう少し具体的な実態把握をしてはどうかという質問でしたが事務局の方いかがでしょうか。

【事務局】

データは持っていますが、載せてはいけないというルールというものもあり、計画書の中に載せているものが精一杯の情報ですので、これでご理解いただければと思います。

【会長】

11ページの表だけでも一生懸命分析されたということは十分わかると思いますし、結構伝わってきます。あとはこのパターンから市民の方が真剣に感じてくれるかどうかだと思います。集計した時に個々の危機感を伝える形をうまく表現できるかがポイントだと思います。

【会長】

今日は小中学校長会の酒井さんがいらっしゃっていますので、お聞きしたいのですが、13ページに最初に悩みを相談するのは誰ですかという問いに、子どもたちとの関わりが高いお母さんが多いのはわかります。また、ある程度大きくなると友達が多くなってきます。一方で、学校の先生は1割もありません。特に未成年（高校生）では0%です。こういったことは安城市だけのことなのですか。それとも全国的な傾向ですか。

【酒井委員】

最初に先生に相談するのはなかなかハードルが高いと思いますので、最初に相談するのは友人か家族が多いです。次に友達に言った後に先生の所に友達と一緒に来るといことがあるので、こういう結果が出たのではないかと思います。もう一つはアンケートは学期に1回はしますが、その中では相談や悩んでいるという声が出てきたりはしています。ですから相談習慣をつけてその中で拾い上げていくことも必要ではないかと考えています。

【会長】

ありがとうございます。次回からは設問の最初というのをなくして、相談することがあるのは誰ですかという複数回答にしたら、学校の先生に相談する子どもも出てくるかもしれませんね。

【会長】

みなさま時間の関係もありますので、議題（2）については了承でよろしいですか。よろしければ拍手をお願いします。

【委員一同】

拍手。

【会長】

今回の議題につきましてはこれで終わりとなります。ありがとうございました。それでは、助言者の愛知医科大学看護学部長 坂本真理子先生のご講評をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

3 講評

【助言者】

ご紹介ありがとうございます。愛知医科大学の坂本と申します。よろしくお願いいたします。非常にわかりやすい進行でした。今日ご発言いただいた皆様から共通していたことは、非常にわかりやすい計画になっているということだと思います。内容を拝見いたしますと、市民の皆様にもわかりやすい、教育的な要素もかなり含まれた計画だと思います。『知っ得・コラム』という名称のコラムも充実していたと思います。そのことは参加者の方からの発言からも支持されていたと思います。今回、色々なご意見をいただきました。その中で団体・事業者等の現状、市町村が取り組むことということで、具体的にこんなことができるという方法論についてのお話がありましたが、計画の中でどこまで具体的にすることというのは、判断のしどころだと思います。これからはまさにアイデアなので具体的な活動はもう少しわかりやすいと言いますか、みなさんがイメージしやすい活動が盛り込まれると思いますが、今回の計画はあくまでも抽象度を上げておくことと今後のアイデアが盛り込めるのかなと思います。わずかに計画づくりの中でこうしてたくさんの方々が集まってくださって取り組んでいただきたいことは、今日お話ししていたようなことだと思います。団体、事業所、そして行政がいかに豊かに楽しく取り組んでいくことが、『健康日本21安城計画』の成否にかかってくると思います。戦略に関しては、清水会長の方からコメントがありましたが、ある程度の割合まで関心を持つ人が増えてこないとなかなか実現しないと思います。安城市の中の『健康日本21安城計画』をブームにしていくような戦略がいいのではないかと思います。もちろんケーブルテレビやマスコミ関係にご協力していただくこともあるでしょうし、何より民間の力を借りることも大きいことだと思います。今回もたくさんの方々が来ていらっしゃいますが、経済活動につなげていくことが成功につながると思います。今、地域づくりに関しては、例えば、健康づくりに関する計画においてもデザイナーさんと一緒に取り組むとか、銀行と一緒に取り組むとか、広い分野の人たちと協力していくことが大事なこととされています。健康的な経営をした企業を表彰したらどうかと会長も言われましたが、今まさに健康経営という表現で国も取り組み始めていますので、是非安城市の方でも取り入れていただけたらと思います。現在、アクティブに活動している団体さん、事業所さんについては、『知っ得・コラム』の中にも紹介していくといいかなと思います。自殺対策計画については、これまで自殺予防の取り組みを行ってこられた主な事業所へのヒアリングが進んでおり、具体的な施策が示されると思います。啓発、早期発見・対応、リハビリと言いますか、未遂者や遺族に対する対策など3つの段階を必ず意識しておく必要があると思います。『健康日本21安城計画』の中でたくさん人とふれあう場が増えれば増えるほど、こういった啓発や早期対応が進むのではないかと思います。また、職場での環境づくりということも非常に大きなポイントになると思います。今回の指標の中に各団体さんが取り組んでいる啓発・早期発見・早期対応、相談、リハビリテーションというものをくまなく入れていくといいのではないかと思います。主な事業所さんへのヒアリングと書いてありますが、意外と幅広く色々な事業所さんが自殺予防に関わる活動をやっているということがわかりました。非常に簡単ではありますが、そのような感想を持ちました。ありがとうございました。

ました。

【会長】

非常に具体的なアドバイスをいただきありがとうございました。本日も非常に活発なご意見をいただきありがとうございました。進行を事務局に返したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

4 その他

【事務局】

どうもありがとうございました。事務局から連絡事項がございます。まず、その他(1)健康に関する基礎調査報告書及び概要版の訂正について事務局より説明します。

【事務局】

訂正について説明

【事務局】

続きまして、(2)安城市自殺対策計画のアンケートについて説明します。

【事務局】

アンケートについて説明

【事務局】

その他の連絡事項は以上になりますが、何か質問等はございますか。

【事務局】

本日の委員会は、以上をもって終了させていただきます。長時間にわたりましてご審議いただきましてありがとうございました。

次の策定委員会は10月26日ということで予定しております。パブリックコメント前の会議となりますので、よろしく申し上げます。

これもちまして第2次健康日本21安城計画第4回策定委員会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。